



2025年8月29日

各位

会社名 ウィルソン・ラーニング ワールドワイド株式会社  
代表者名 代表取締役社長 根岸 正州  
(東証スタンダード コード: 9610)  
問合せ先 執行役員グローバルコーポレート本部 本部長  
渡壁 淳司  
電話番号 03-6381-0234

## 代表取締役社長就任のご挨拶とビジョン発表に関する説明動画公開のお知らせ

2025年8月27日の取締役会において、当社の代表取締役社長に根岸正州が就任いたしました。

新しい経営体制のもと、当社の長年にわたり培ってきた「**Learning**（企業研修・組織開発）」を基盤に、「**Education**（教育）」「**Technology**（テクノロジー）」「**Consulting**（コンサルティング）」を組み合わせた成長モデル — 『**L×ETC** 構想』を掲げ、時価総額100億円の実現を目指す新たなビジョンを発表しました。

新社長の根岸より、新ビジョンと今後の成長戦略・企業価値向上への方針について動画でご説明いたします。

下記のリンクよりご覧いただけますようお願い申し上げます。

[ご挨拶動画](#)

※次ページ以降は動画で使用しましたスライド資料となります。

以上



# 代表取締役就任におけるご挨拶とビジョン発表に関するご説明

Wilson Learning Worldwide Inc. (証券コード:9610)

# 代表取締役のご紹介

# 代表取締役社長のご紹介

## 根岸 正州

Masakuni Negishi

- 2003年4月 株式会社野村総合研究所 経営コンサルティング部入社
- 2022年3月 学校法人OCC 理事長 就任（現任）
- 2022年5月 学校法人OCC 大阪キリスト教短期大学 教授 就任（現任）
- 2022年12月 株式会社バリュー・スタッフ 代表取締役 就任（現任）
- 2023年2月 株式会社教育テック総研 代表取締役 就任（現任）
- 2025年4月 学校法人OCC 教育テック大学院大学 特任教授 就任（現任）
- 2025年8月 当社 代表取締役社長（就任）

2003年野村総合研究所に入社後、約20年にわたり経営戦略策定、グローバル経営管理、ガバナンス・組織改革、デジタル分析組織設計、企業再生、業務・IT改革支援など幅広いコンサルティングに従事。

製造、食品、アパレル、サービス業など多様な業界で豊富な知見を持ち、長期ビジョンや中期経営計画策定、グループ再編、事業開発、業務・IT改革、人材マネジメントを含む多数のプロジェクトを主導。2022年には学校法人OCC理事長に加えて、大阪キリスト教短期大学で教授に就任。その後、バリュー・スタッフや教育テック総研の代表取締役にも就任。現在においても経営と教育の両面から人材育成と企業変革に尽力。



※経歴詳細は[HP](#)よりご確認ください

## 新ビジョンの発表

今年で**創業60年**を迎え、新たな**成長ビジョン**を発表しました。

この**成長ビジョンを実現**するために新任役員を外部から迎え入れ、

**新しい経営体制**で**目標を達成**してまいります。

WILSON LEARNING®



# 新ビジョン：成長モデル『L×ETC構想』を通じて時価総額100億円企業へ

当社ミッション

すべての人や組織が *Performance with Fulfillment*<sup>※1</sup> を実現できる世界を目指す

## 時価総額 **100** 億円へ

※1  
社会・組織への成果・貢献と、  
人の生きがい・自己実現を同時に達成すること

### 『L×ETC構想』

個人・機関・社会にインパクトをもたらすために、  
教育・テクノロジー・コンサルティングをつなぎ「**学びの未来**」を創造する。

上場維持基準を早期にクリア



# 新ビジョンを軸に、教育インフラ企業への進化と事業拡大を加速

2026年3月期  
調整フェーズ

2028年3月期  
成長ステージ

2029年3月期以降  
拡大ステージ

成長  
ドライバー

**E** ウィルソン・ラーニング for Kids※1、大学院※2との単位互換、R&D強化

**T** AIの徹底活用、生成AIを活用したAIティーチャー、学びのDXを加速

**C** HRコンサルティングの強化、戦略・ITコンサルティング事業への展開

具体的な  
施策

経営改革

- ・経営体制を刷新し、スピード経営で業績改善を推進
- ・CTOやCFO等の次世代経営人材を確保し、ガバナンスと成長力の両方を加速
- ・開示体制の整備と投資家との積極的なコミュニケーション

事業改革

- ・3つの成長ドライバーを軸に、数値目標の実現を目指す
- ・新規事業拡大と収益性改善の両立を図る
- ・収益基盤を確立したうえで、事業の多角化・海外展開・M&Aやアライアンスを積極的に推進

目標

3つの負の解消

3年で売上高50億  
営業利益5億円を目指す

時価総額100億円  
の早期実現へ

※1 グローバル基準のリーダーシップ教育メソッド、学校教育メソッドと、AIを主軸にしたITメソッドを融合し、真のグローバルリーダーを育成するプログラム。

※2 教育現場の変革を推進するリーダーを育成する学校法人OCC 教育テック大学院大学のプログラムと単位互換

# 新ビジョンの推進に向けて“3つの負”の解消を急ぐ

1

上場維持基準の不適合

流通時価総額10億円

利益計画の見直し  
ビジネスモデルの再構築

2

GC注記

連続赤字による資金繰り懸念

1Qで業績上方修正を実施  
黒字転換に向けて全力で挑む

3

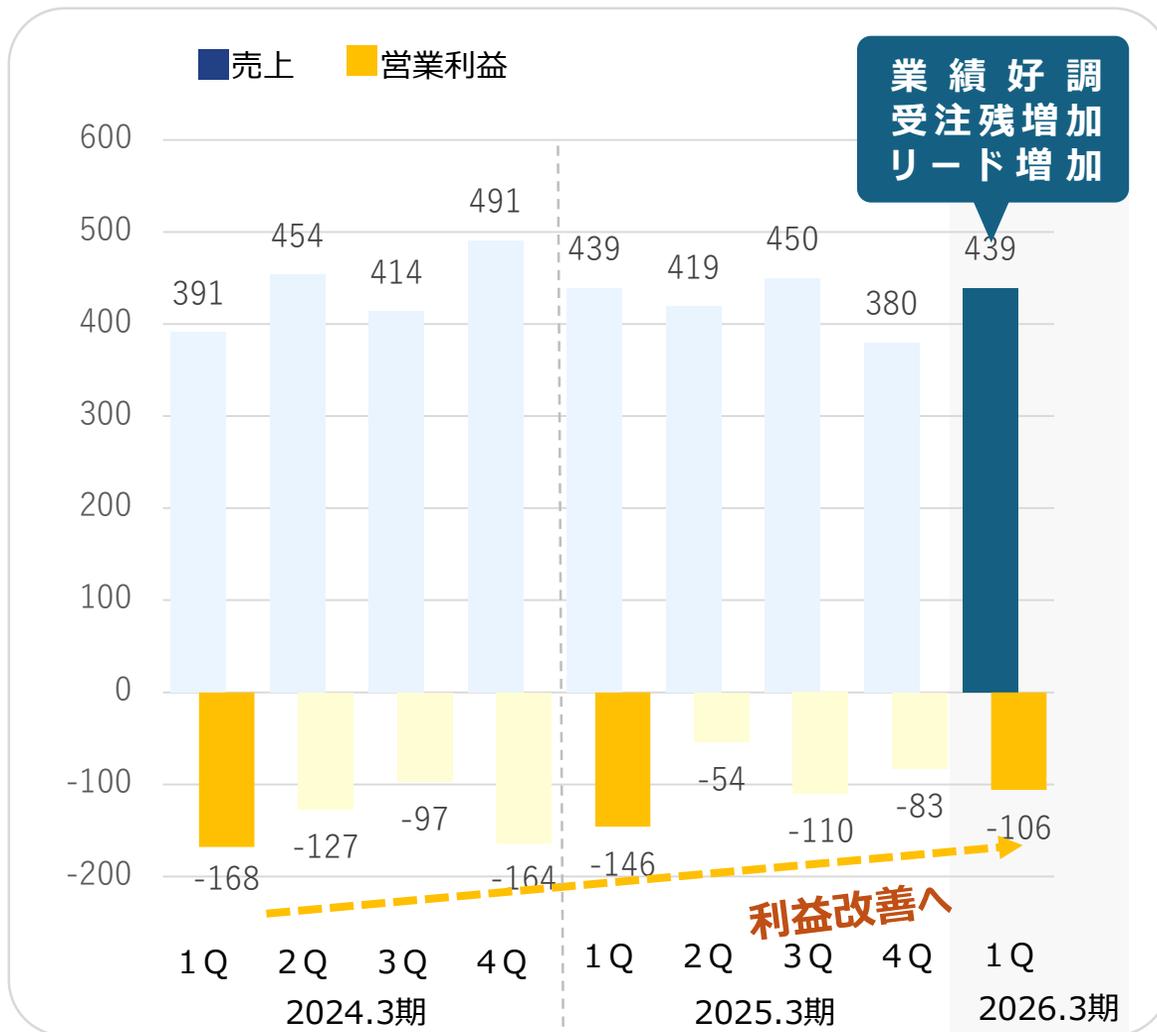
適時開示体制

直近で決算開示の遅延実績

公認会計士2名以上を  
新たにアサイン

まずは調整フェーズにおいて業績拡大とともに  
3つの負の解消を急ぐことで投資家の懸念払拭に努める

# 1 Qにおける好調な業績と受注増の背景から業績予想を上方修正



## 業績予想の修正 (百万円)

	期初予想	修正予想
売上高	1,720	1,900
営業利益	△100	△65

## ▶ 黒字転換に向けて前進

### 業績予想修正に至った主な要因

- 米国における事業が1 Q段階で好調
- 国内で大型案件の受注が決定
- 国内外での新規リード件数増加

# 新任役員のご紹介

# 新任取締役及び新任執行役員のご紹介

取締役  
海外事業管掌

渋田 淳一

Junichi Shibuta



元三井物産 米国・欧州社長も歴任  
元グリッド COO経験、IPO主導  
複数スタートアップのアドバイザーとして参画  
豊富な実務経験と国際ネットワークを持つ

取締役  
WLC担当

デイビッド  
イエスフォード

David Yesford



ウィルソン・ラーニング・コーポレーション社長  
人材パフォーマンス分野で40年の実績  
米国・アジア太平洋での豊富な国際経験  
国際会議登壇・主要誌寄稿多数

社外取締役

杉本 有輝

Yuki Sugimoto



元BCG 経営戦略策定・DX/AI活用を担当  
元サファイア・キャピタル 中小・ベンチャー投資・経営支援  
アクセラ創業 DX・AIによる事業変革や成長支援に尽力  
戦略から実行まで一貫した伴走支援に強み

執行役員  
コンサルティング室室長

中島 済

Wataru Nakajima



米国MBA  
元野村総研 経営コンサルティング30年の実績  
グループ再編・事業再生・新規事業開発等を推進  
元神戸大学大学院 客員教授（人材育成）

執行役員 WLC担当  
コンサルティング室

中田 章文

Akifumi Nakata



元野村総研 米国大手流通企業の業務改革を推進  
サプライチェーン最適化・ERP設計を担当  
現地子会社設立・企業買収を主導  
グローバル・アライアンス構築に強み

執行役員 CFO

田島 大輔

Daisuke Tajima



公認会計士 米国MBA  
あずさ監査法人で監査経験後、デロイトコンサルでシステム統合  
PMO、KPMG FASで国内・クロスボーダーM&A  
上場AI企業・スタートアップ CFO歴任  
23年会社設立、CFOサービス・M&Aアドバイザリーを展開

※役員すべての経歴詳細は[HP](#)よりご確認ください

# 次世代の教育インフラ創造に向けた三者事業提携 についてのご説明

# 次世代教育インフラを共創する戦略的パートナーシップで事業拡大へ

## 三者による事業提携・戦略的パートナーシップ



# 「次世代教育インフラ」とは

## 成長ドライバー

### ■ 子ども向け教育『ウィルソン・ラーニング for Kids and Youth』の共同開発

導入を進めるにあたり、和歌山に開校する英国名門パブリックスクール「ゴードンストウン・スクール日本校（仮称）」におけるトライアル実施

### ■ 幅広い年代に対応した『AIティーチャー』の開発

いつでもどこでも学びを支援する新しい教育インフラを構築する

### ■ 一人一人によりそう『AIエージェント』の開発

学校だけではなく企業研修でも個人一人一人の学びによりそうAIエージェントの開発

### ■ 社会人向けプログラムと大学院単位互換方式の検討

大学院プログラムとの単位互換による生涯学習の強化を図る

## 競争優位性

- ・教育設計×研究実装×AIインフラの**三位一体連携**
- ・実証実験と継続的なフィードバックで、**教育×AIの技術実装を加速**
- ・**各者のノウハウを形式知化**し、持続的に改善

## 将来ビジョン

- ・社会発信・推進により、**グローバルな学びの未来**を共創
- ・国内外への展開戦略を策定し、**教育イノベーション**を推進、**収益化を加速**

## パートナー紹介

**E**ducaiton

研究機関

**EMBA  
TECH**

学校法人OCC 教育テック大学院大学

研究・実装力



**T**echnology

最新AI

 H&E TECH

AI・教育インフラ開発

教育テックを活用し、教育現場の変革を推進するリーダーを育成する、日本初の教育DXと経営に特化したフルオンライン大学院

- DXソリューション開発  
(AIカメラ、ファンエンゲージメントなど)
- AI導入/データ活用支援

※三者連携の第一弾として、**2025年9月16日（火）19:00～「AI時代の人材戦略」**と題して、人事の第一人者である明治大学の野田稔さんをゲストに、**連携シンポジウムを実施**します。

新しい経営体制と新ビジョンのもと、**上場維持基準を早期にクリアし、**

**時価総額100億円企業の実現を目指す**とともに、

**— 学びの未来を創造し、社会に新しい価値を届ける —**

全社一丸となって、**その挑戦を加速**してまいります。